

歓迎の言葉

厳しい冬の寒さを越え、石田坂の桜の蕾が色づき春の訪れを感じさせます。高校入試という一つの壁を乗り越え、秋田県立新屋高等学校に合格された一六〇名の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎いたします。

入学に先立ち、充実した学校生活を送るための心構えと本校の特色や行事についてお話したいと思います。

皆さん、中学校と高校の差とは何だと思いませんか。制服、自分を取り巻く環境、授業の内容、様々です。なかでも一番の大きな差は自由度です。例えば校内の活動では、自分たちが中心になってアンケートを基に学校祭の企画を決定します。また、校外の方からは、皆さん一人一人が学校の代表として見られます。負うべき責任や自分たちがやるべきことは増えますが、中学校よりも様々なことができるようになります。人任せにせず、やれることを探して学校生活を送ってみてください。そうすれば、学校生活がより充実したものになると思います。

本校の特色や行事について説明します。6月には、新屋高校最大のイベントである新高祭が行われます。昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け規模を縮小し校内公開だけで行いましたが一人ひとりの創意工夫が身を結び例年と変わらぬ盛り上がりを見せました。8月には校内体育大会があります。こちらも、昨年度は規模を縮小して行いましたが、どのクラスも熱い戦いを繰り広げ例年と同等の盛り上がりを見せました。トーナメントは学年関係なしに組まれますので、上級生に勝つ下克上のチャンスがあるかもしれません。これらの二つの行事は学校生活を有意義なものにしてくれるだけではなく、クラスの結束力を高めると同時に、自分たちを成長させてくれる機会にもなります。

本校は、部活動や生徒会活動も盛んに行われています。部活動においては全国高等学校弓道選抜大会出場、東北高等学校サッカー選手権大会出場、全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選出場など輝かしい功績を残しています。どの部活動も放課後は真剣に自分たちの活動に励んでいます。

また、生徒会活動では、ももさだ海岸清掃ボランティアや日吉神社山王祭への参加や雪まつりへの参加などの地域ボランティア活動が盛んです。地域とつながることができると同時に自分自身を成長させることができます。皆さんも積極的に参加してみてください。

皆さんは、日頃から目標を持って生活しているでしょうか。また、一日一日を大切に生活しているでしょうか。私は、二年間この学校で人の役に立つことを意識して生活してきました。個人差はあると思いますが二年間あつという間でした。高校を卒業したときに、「新屋高校に入学して良かった。」と思えるように、日常を大切に、目標を持って生活してください。

最後に、新入生の皆さんの学校生活がより有意義なものになることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

令和三年四月六日

在校生代表 須田琳人